

# 温

おん

(思いやりのある子)

# 強

ごう

(がんばり抜く子)

# 活

かつ

(進んで学ぶ子)

山口市立小郡小学校  
2019 年度 校長室だより

第 25 号

〈R. 元.11 .25 〉

## 持久走大会への思い

### ◇中学校時代の思い出

持久走大会には、思い出があります。小学校時代には遅くて、後ろから数えた方が早かったのですが、中学校で部活動を始めて自然に体力がついたのか、中1の時に思いがけず17位になりました。(約70人中) その頃、10位までは賞状がもらえて全校の前で表彰されていました。体育全般あまり得意でなく、体育で賞状などももらったことがなかったので、中2の時には「あと7人抜かして絶対に賞状もらっちゃう。」と心に決め、練習に真面目に取り組み、家に帰ってから毎日走りました。結果は7位。やりました！ところが、ここでとんでもないことが起こりました。オイルショックです。第4次中東戦争をきっかけにして原油が高騰し、経済が混乱して物不足が起きました。人々がトイレットペーパーの買い占めに走ったのもこの時です。日本全体で紙不足となり、そのあおりを食らって、自分の中学校でも「今年の持久走大会の賞状は6位までとする」と決まりました。「そりゃないよ、先生！！」どれだけがっかりしたか知れません。それでも中3で気を取り直して、もう一度頑張って5位。ついに念願の賞状を手にし、中学校の代表になって市の駅伝大会にも出場できました。「やればできる」という自信をもたせてくれたのが持久走でした。

### ◇子どもたちに伝えたいこと

自分の体験から考えても、努力すればある程度結果が表れるのが持久走です。順位はともかく、練習すればタイムは必ず縮めることができます。努力が目に見えて表れるので、しっかり練習に取り組んで自信につなげてほしいです。長距離を走るのは誰でも苦しくて辛いもの。だからこそ余計に達成感もあるのです。「頑張った自分を褒めてやりたい気持ち」をみんなに味わってほしいのです。

そして、本番だけ頑張ればいいのではなく、練習を頑張って本番を迎えてこそ意味があります。中間休みに全校で走っているのですが、毎年1位になっているような子どもたちが、力を抜いて走っていたので、思わず目についた2人ほど呼んで「1位らしく、練習の時からみんながあこがれるような走りをしてほしい。」という話をしました。次の日に見た時には、頑張って走っていたのでうれしかったです。

### ◇体重が・・・

中学生の頃から大人になっても持久走は得意でしたが、最近は思うように走れません。老化もありますが、体重の増加が影響しています。体重が増えるということは、それだけの重りをつけて走っているようなものです。体重がある子ども達が頑張って走っていると思わず応援したくなります。その辛さがわかりますから。

### ◇保護者の方へ

毎年書いていますが、私の経験上、持久走大会になると、「〇位になったら〇〇買ってやる」という方式で、頑張らせようとされるご家庭がありますが、賛成できません。報酬や見返りがないと頑張れない子どもを育てたい訳ではないでしょう。順位だけでなく、タイムやそれまでの頑張りにも目を向けた応援をお願いいたします。

